

佳作

たすけてくれましてありがとうございます

千葉県 聖徳大学附属小学校二年 佐々木 実琴

ぼくは、電車で学校にかよっています。ある日の
かえりみち、つかれてねてしまいました。目がさめ
ると見なれたえきではなく、びっくりしていると、
となりですわっていたおねえさんが、

「どうしたの。」

と、こえをかけてくれました。

「おりたいえきでおりれなかったと話すと、

「いっしょに、もどろうか。」

と言ってくれましたが、もどるよりおとうさんがつ
とめる会社があるえきにむかう方がちかいと思っ
たのでそのことを話すと、

「いっしょにいこう。」

と、にっこりわらって言いました。

一人で行ったことはなかったのですが、本当はすごく
ふあんでしたが、おねえさんがとてもやさしくてあ

ん心しました。

会社があるえきにつくと、おねえさんといっしょ
にいたおにいさんが、けいたい電話で会社までのみ
ちをしらべてくれました。おにいさんとはえきでわ
かれ、おねえさんと二人で会社におかいました。

その日は、ランドセルのほかにバッグをもってい
たのですが、おもそうだからもってかれて、ぼく
の歩くスピードに合わせてゆっくりと歩いてくれま
した。ぼくは一人っ子なので、こんなおねえさんが
いたらいいなと思いました。

「こっちが会社だと思うよ。会社のかんばんが見え
てきたね。」

と、教えてくれましたが、おとうさんに会えるうれ
しさと、おねえさんとのたのしい時間がおわってし
まうさみしさと、ふくぎつな気もちでした。

会社のうけつけの人にじじょうを話し、おとうさ
んをよんでもらうことになり、おれいをつたえわか
れましたが、おとうさんがすぐきてくれたので、ほ
っとしました。

おとうさんは外出中で、いそいで会社にもどった
時に、入り口にわかい女の人がいてふしぎに思った
そうです。おねえさんにたすけてもらいここまでき

たことを話すと、おとうさんはおれいをつたえに外に出ましたが、もういませんでした。

「おねえさんは、さいごまで見まもってくれていたんだね。こんな親切な人は、なかなかいないよ。」と、おとうさんは言いました。

その話を聞いて、もっとしっかりおれいをつたえればよかったなど、こうかいました。

また会えたら、「ふあんだった時に、やさしくしてくれてありがとうございました。ぼくも、こまっ
ている人がいたらおねえさんのようにたすけます」と、つたえたいです。

今では、電車通学になれてねてしまうことはなくなり
ましたが、一生わすれられないできごとになりました。